

すべての革新は患者さんのために



Roche ロシュ グループ

2019年7月25日

各位

2019年12月期第2四半期連結決算

- ・ 第1四半期に続き、売上・利益とも過去最高
- ・ 新製品および国内外における主力品売上の好調な推移に加え、ロイヤルティ等収入及びその他の営業収入が大きく伸長し、売上収益は二桁増の3,203億円（+12.3%）
- ・ 増収と製商品原価率の改善に伴い、Core 営業利益は4割増の1,035億円（+44.6%）

中外製薬株式会社（本社：東京、代表取締役社長 CEO：小坂 達朗）は、本日2019年12月期第2四半期連結決算を発表いたしました。

2019年12月期第2四半期の業績は、第1四半期に続き売上収益、営業利益および四半期利益のいずれも過去最高でした。血友病A治療薬ヘムライブラ[®]、がん免疫チェックポイント阻害剤テセントリク[®]をはじめとする新製品および主力品の貢献、輸出の好調等による製商品売上高の二桁増に加え、ヘムライブラの寄与によるロイヤルティ等収入及びその他の営業収入の増加により、売上収益は12.3%増加しました。加えて、自社品の売上拡大に伴う製品別売上構成比の変化等により製商品原価率が改善し、営業利益は44.6%増加しました。

(億円)	2019年 第2四半期	2018年 第2四半期	前年同期比
連結損益（Core実績）			
売上収益	3,203	2,851	+12.3%
製商品売上高	2,824	2,556	+10.5%
ロイヤルティ等収入及び その他の営業収入	379	295	+28.5%
営業利益	1,035	716	+44.6%
四半期利益	751	526	+42.8%
連結損益（IFRS実績）			
売上収益	3,203	2,851	+12.3%
営業利益	951	666	+42.8%
四半期利益	693	490	+41.4%

[売上収益]

- 国内製商品売上高は、一部の製品における後発品影響および昨年の薬価改定影響による減少の一方、自社創製の血友病 A 治療薬ヘムライブラ、がん免疫チェックポイント阻害剤テセントリクをはじめとする新製品群に加え、がん領域および骨・関節領域を中心とする主力品が好調に推移し、全体で 2,100 億円 (+9.9%) に増加しました。
 - がん領域：後発品影響によりリツキサン[®]の売上が大きく減少したものの、新製品テセントリクおよびガザイバ[®]の貢献に加え、パージェタ[®]およびアレセンサ[®]の好調な推移により、増収でした。
 - 骨・関節領域：関節リウマチ治療薬アクテムラ[®]、骨粗鬆症治療剤エディロール[®]を中心とする主力品の堅調な推移により、二桁の増収となりました。
 - 腎領域：腎性貧血治療薬ミルセラ[®]、二次性副甲状腺機能亢進症治療剤オキサロール[®]がいずれも前年並みの実績となり、全体としても横ばいでした。
 - その他領域：昨年の長期収載品譲渡の影響を受けたものの、新製品の血友病 A 治療薬ヘムライブラの順調な市場浸透により、2 割の増収となりました。
- 海外製商品売上高は、アレセンサのロシユ向け輸出の増加により、724 億円 (+12.2%) に増加しました。
- ロイヤリティ等収入及びその他の営業収入は、ヘムライブラに関するロイヤリティ及びプロフィットシェア収入の増加により、全体として 379 億円 (+28.5%) に増加しました。

(億円)	2019 年 第 2 四半期	2018 年 第 2 四半期	前年同期比
製商品売上高	2,824	2,556	+10.5%
国内	2,100	1,911	+9.9%
がん領域	1,146	1,057	+8.4%
骨・関節領域	520	470	+10.6%
腎領域	172	170	+1.2%
その他領域	262	215	+21.9%
海外	724	645	+12.2%

[Core 営業利益]

- 売上収益の増加に加え、自社品の売上拡大に伴う製品別売上構成比の変化等により製商品原価率が改善し、Core 売上総利益は 1,927 億円 (+23.1%) に増加しました。
- Core 売上総利益の増加に対し、Core 経費 (892 億円、+5.1%) の増加は一行台にとどまりました。この結果、Core 営業収益は 1,035 億円 (+44.6%) となりました。

Core 実績について

当社は IFRS 移行を機に 2013 年より Core 実績を開示しております。Core 実績とは IFRS 実績に当社が非経常事項と捉える事項の調整を行ったものであり、ロシユが開示する Core 実績の概念とも整合しております。当社では Core 実績を、社内の業績管理、社内外への経常的な収益性の推移の説明、並びに株主還元をはじめとする成果配分を行う際の指標として使用しております。

上記本文中に記載された製品名は、法律により保護されています。

以上